

令和5年度仏生寺地区防災訓練計画書

日 時	令和5年11月12日（日） 午前8時30～正午
避 難 所	仏生寺体育館
主催者及び 参加団体等	主催 仏生寺地区自主防災会（防災士含む） 共催 仏生寺地域づくり協議会 参加団体 仏生寺消防分団、民生委員児童委員、福祉サポーター
訓練想定	12日早朝、富山気象台から氷見市に、大雨警報及び土砂災害警戒情報が発表がある。氷見市から仏生寺地区に河川氾濫や土砂災害が発生する恐れが高まったことから、避難指示が発令される。
訓練内容	<p>◇避難情報伝達訓練・避難訓練</p> <p>①氷見市から自主防災会長に避難指示が伝達される。会長は各集落の区長に避難情報を伝達する。</p> <p>②区長は、避難情報伝達班長・避難支援班長に避難情報を伝達する。</p> <p>③班長は、自分の担当する区域の全戸に避難情報を伝達する。（防災訓練のチラシ配布）</p> <p>④避難者（役員含む）は、非常用持ち出し袋（非常食・飲料水・常備薬等を入れて）を持って、地域の決められた集合場所に集り、車に乗り合わせて仏生寺体育館に避難する。（駐車場はグラウンド）</p> <p>⑤区長・民生委員は、いのちのバトン・避難支援シート台帳、福祉マップを持参すること。</p> <p>◇避難所設営訓練 I</p> <p>* 避難所入所の際、手の消毒、検温を行う。マスク着用は個人の判断。（体温が37.5度以上の人は救護室へ）</p> <p>①防災訓練本部に各種の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難情報伝達報告書（区長から避難情報伝達班長・避難支援班長へ） ・ 避難するとき見てきた災害情報を報告し、災害情報掲示板に掲示する。 ・ 避難者名簿（防災訓練参加者）の報告する。 ・ 民生委員・福祉サポーターは、要支援者の支援協力者と連絡を取り（安否確認等）その内容を記入し報告する。 ・ いのちのバトン避難支援シート台帳・福祉マップの持参を報告する。

◇避難所設営訓練Ⅱ

* 4つのグループに分かれて①②③の訓練を同時に行う。各グループは、

①②③の訓練参加者を事前に決めて置く。

- ・ A グループ…惣領・大覚口
- ・ B グループ…鞍骨・鉾根
- ・ C グループ…脇之谷内・寺中・大窪
- ・ D グループ…上中・吉池・細越・上原

- ① 個室テント（ファミリールーム）を各グループで4張設置する。
 - ② 非常用発電機の運転し、投光器を点灯する。発電機が4台をグループで1台、運転・停止を交替しながら体験する。
 - ③ 仮設トイレを各グループで1セット設置する。（テント・便座・処理
 - ④ AED 操作体験、簡易担架の作り方を消防団の指導で行う。
 - ⑤ アルファ米炊き出しを炊き出し班が行う。200人分（50人用4箱）ラボ水族館前テラスで、お湯は簡易コンロを使って沸かす。調理したご飯を参加者が持ち帰る。
- ◎ 以上の訓練を10時10分までに終了する。その後、ゴザを敷いて、表彰等報告会・防災講演会・コンサート会場に切り替える。

◇防災功労者内閣総理大臣表彰等報告会・防災講演会

○開会挨拶…会長、来賓挨拶…市長、講評…防災危機監理官

○防災講演会…屋敷防災士

○内閣総理大臣表彰・防災まちづくり大賞消防庁長官賞受賞関連の展示

・ 賞状、賞状盾、新聞記事、事例集、事例掲載の本の展示

・ ハザードマップの掲示、（警戒区域変更マップ）